**☆小説の読み方☆**

**POINT１：小説が始まる前の文に着目**

リード文（本編が始まる前の説明の文章）から、

登場人物・人物の関係性・性格を読み取る

**POINT２：心情（気持ち）のプラス・マイナスに着目**

□気持ちを表す言葉に着目：

◎直接感情を表す言葉

◎間接的に感情を表す言葉

（動作・表情・人物の発言・慣用句や比喩）

□心情の変化に着目：

話の中で、心情が変化している場合が多い

そのターニングポイントと、

どんな気持ち⇒どんな気持ちを読み取る

**※通常は、マイナス⇒プラスに転じることが多い**

□心情を反映している情景描写に着目：

**POINT３：作品のテーマに着目**

リード文・本文での人物の関係や事件・出来事

と心の動きから作品のテーマを読み取る

**☆論説文の読み方☆**

**POINT１：“対比”に着目**

**一般論⇔筆者のオリジナルの考えにも着目**

□何と何を比べているのか、それぞれのキーワードや要点を読み取る

□一般的には～だが、私は～と考える、となっている場合が多い

**POINT２：　逆説の接続詞「しかし」「だが」などに着目**

□逆説の接続詞の後は、大事

筆者の一番言いたいことがある場合も

**POINT３：問いかけに着目**

□「～とは何だろうか？」「なぜ～は・・・したのだろうか？」等

⇒話題の提示

□「～ではないだろうか。」等 ⇒ 結論（筆者が述べたいこと）

**POINT4：語句の定義を述べる言葉に着目**

□「○○とは～～である」等　⇒問題で問われることが多い

**千葉県公立入試：設問分析**

**大前提：設問を作る人は、ヒントを出してくれている**

◆穴あき抜き出し問題

　□の前後にヒントの語句を入れてくれているはず

◆設問へのヒントの入れ方

なぜ～か　⇒　～から、～ので　のような言葉はあるか？探す

～とはどんなことか　⇒　～こと、あるいは名詞で終わる

～はどんな気持ちか　⇒　～気持ち、あるいは気持ちを表す語句で終わる

**※抜き出し問題については、こういう感じの答えになるはずという予測をして探していくと良い。**

**漠然と探すよりも探しやすい。**

◆選択肢の消去方法

×な部分を見つける

**よくある選択肢の構造**

◎本文と真逆のことを言っている　⇒　×

◎本文に書いてないことを言っている　⇒　×

◎似ているが本文と意味を変えている　⇒　×

**×になりやすい選択肢**

□　～だけ、必ず～　など断定しずぎているもの

□　一般的な考えすぎるもの（良いこと言いすぎなもの）

**⇒※必ず本文と照合する（どこを根拠に判断したのか明確に言えるようにする）**